

議 事 録

1. 会議の名称	池田市史編纂委員会
2. 開催日時	令和元年5月24日(金) 午後2時00分～4時00分
3. 開催場所	市役所 小会議室
4. 出席者 ※委員長：◎ 副委員長：○	《委員》 小田 康德 ◎ 田中 晋作 松永 和浩 《事務局職員》 西山教育部長 田上教育部次長兼歴史民俗資料館長 武田生涯学習推進課長 細谷主幹
5. 議 題	(1) 今年度以降の課題について (2) 池田市史値下げ・ふるさと納税の状況について
6. 議事経過	別紙のとおり
7. 開・非公開の別 ※非公開の理由	公開
8. 傍聴者数	0名

開 会

部長 公務で出張中の教育長に代わり、ご挨拶申し上げます。編纂委員の皆様には、平素より池田市の文化行政にご協力賜り、お礼申し上げます。池田市は今年4月29日に市制80周年を迎えた。記念式典は10月26日に行う予定。市史編纂関係では、7月から中央公民館で写真展、資料館とのタイアップした展示を行う予定。80周年記念ということで大幅な値下げを行った池田市史は順調な売れ行きと聞き及んでいる。本日も忌憚りの無いご意見を賜ればと考えている。

(1) 今年度以降の課題について

事務局 旧細河小学校の確保教室を1室から2室に拡充し、当面の資料保管場所とした。現在、計5箇所分散して資料を保管している。

委員 温湿度など資料の保管状況は。

事務局 旧小学校が顕著に悪く、全体的にもあまり良い環境とは言えない。旧中央図書館のラックを再利用するなどして少しでも環境を整えたい。また、長期的な見通しを持って保管する場所を確保するのが、今後の課題。

委員長 資料は市民の財産なので、根本的な処置を希望する。

事務局 歴史民俗資料館との連携ということが課題になっている。歴史民俗資料館とは、機能が異なり、市史では歴史民俗資料館が対象としていない現代資料なども収集している。やみくもに組織自体を統合すれば市史編纂で集めた資料などを、次世代に引き継ぐことができなくなってしまう恐れがある。展示に協力するなど連携は積極的に進めたい。データベースを共用した方が、お互いにとって有益だと思うが、システムが別れているので、なかなか難しい。

委員 歴史民俗資料館は資料の収集とともに市民への還元という大きな役割がある。市史の方でも市民への還元という部分をもっと意識した方が良い。

事務局 マップやダイジェスト版などを発行することも念頭に、ホームページで写真や資料を公開するなど市民への市史編纂の成果の還元に着手したい。

委員 池田市域だけでなく周辺自治体と協力しマップを作った方がいい。また、文化財や史跡などにこだわらず、観光マップなどに文化財などを入れ込む形で作った方が良いかもしれない。

事務局 観光マップであれば他の自治体と協力してマップを作った事例もあり、現在も連携していると思うので、文化財等入れてもらうよう考えていきたい。

委員長 併せて、『池田市史』で残された課題の解明、基礎知識の集積は必ずやっつけていかなければならない。

(2) 池田市史値下げ・ふるさと納税の状況について

事務局 今年度より現在頒布中の池田市史を1冊1,000円、別巻のみ500円で販売している。例年よりかなり多い売上冊数だ。値下げ1ヶ月前から広報、市ホームページで告知し、値下げに関する意見は今のところない。ふるさと納税

は市全体の申込額が下がっていることもあり、未だ申込はない。

委員長 販売に関し、セット価格などは。

事務局 大幅な値下げであったことからセット価格は設定しなかった。今後は学会の物販ブースなどで販売するなど努力して、売れ行きを維持していきたい。

閉 会